

令和8年度 「高次脳機能障害」医療等の個別相談会

ご案内

- 内容：専門医等による総合相談
対象：頭部外傷等により脳に何らかの損傷が生じ、そのために記憶や言語などの機能が低下し、生活上様々な問題を抱えている本人及び家族
例：生活をする中で困っていること（物忘れ、集中できない、計画を立てて行動するのが苦手など）
※本相談会で診察や診断はできません。
※他に主治医がいる場合、現在の治療に対して意見することはできません。
- 費用：無料
日程：令和8年9月7日（月）
時間：午後1時30分～午後4時
場所：静岡県富士総合庁舎 会議室
〒416-0906 富士市本市場 441-1
（公共交通機関を利用の場合）
JR 富士駅北口から吉原中央駅行きのバスで約10分、「県総合庁舎前」で下車です。
（自家用車を利用の場合）
敷地内の駐車場には、台数に限りがあります。ご注意ください。
- 募集人数：3組（予約制、先着順）
※1組ずつ順に行うため、予約時間より前後する場合があります。
- 申込方法：8月21日（金）までに電話にて、以下の申込先まで御連絡ください。

《申込み方法》

①電話で申込み

【宛先】富士健康福祉センター福祉課

【番号】0545-65-2155

②当所から送る「事前調査表」に記入

※申込み後に当所から事前調査表の様式を送付するので、書面またはインターネットで記載（作成）していただきます。

最近、飽きっぽい

周りから、怒りっぽいと言

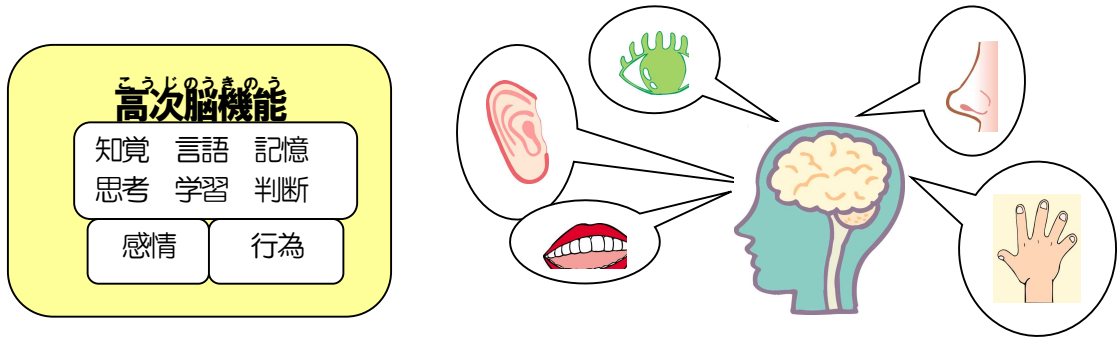
われる



こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害を知っていますか？

脳は外界から送られてくる様々な刺激をとらえ、言葉や動作に置き換えたり、学習したり、記憶します。脳は、さらに記憶した知識や経験から、判断をしたりもします。また、人間の脳の働きには、感じる（感情）、意志などの情緒機能もあります。こうした人間特有の高度な脳の働きを「高次脳機能」といいます。

「高次脳機能障害」とは、事故や病気などで脳が損傷されて、脳の精密な情報処理（高次脳機能）がうまくいかなくなった状態のことをいいます。



★原因は… 大きく分けて次の3つがあります。

- 1 脳の外傷
(交通事故、転落事故、スポーツ中の転倒など)
- 2 脳の炎症や、酸素不足
(脳炎、窒息や喘息発作・心肺停止等による低酸素脳症、脳腫瘍など)
- 3 脳の血管が切れたり、詰まったりすること
(脳出血、くも膜下出血、脳梗塞など)

★症状は？

人間の脳には複雑で様々な働きがあるため、原因や病気、けがを負った脳の場所によって症状は様々です。古くから知られる高次脳機能障害に、失語・失認・失行がありますが、最近では、「注意障害」、「記憶障害」、「遂行機能障害」、「社会的行動障害」等を主な症状とし、それにより日常生活や社会生活に困難をきたすものを、「高次脳機能障害」と呼んでいます。

こうじのうきのうしょうがい

—高次脳機能障害の主な症状—

ちゅういしょうがい 注意障害	ぼんやりしていて、何かをしようとミスばかりする。いくつかのことを同時にしようとするとうろたえる。
きおくしょうがい 記憶障害	物の置き場所を忘れる。新しいできごとを覚えていられなくなる。そのため、何度も同じことを繰り返し質問したりする。
すいこうきのうしょうがい 遂行機能障害	自分で計画を立ててもものごとを実行することができない。人に指示してもらわないと何もできなったり、行き当たりばったりの行動をする。
しゃかいてきこうどうしょうがい 社会的行動障害	感情や欲求のコントロールができなくなる。相手の立場や気持ちを思いやれなくなる。一つの物事に固執する、意欲がなくなる 等。
びょうしきけつらく 病識欠落	自分が障害をもっていることをうまく認識できず、障害がないかのようにふるまったり、言ったりする。
その他	失語、失行（麻痺はないのに、道具がうまく使えない等）、失認（目に見えるのに、物や形や色の理解ができない。半空間無視等）の症状や人格の変化が生じたりします。